

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 29日

都道府県知事
佐藤 樹一郎 殿



提出者
住所 〒877-0054
大分県日田市大字高瀬6979
氏名 サッポロビール株式会社九州日田工場
工場長 神山 剛
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0973-25-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サッポロビール株式会社 九州日田工場
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬6979
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで

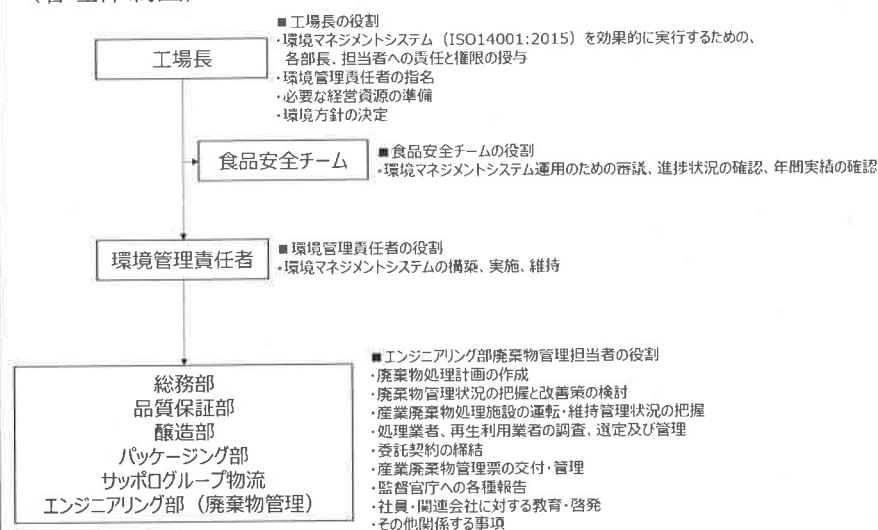
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業－酒類製造業－ビール製造業 [1022]
②事業の規模	製品出荷額 7,946百万円
③従業員数	2024年3月末現在 約100名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>The flowchart illustrates the waste management process. It starts with '発生源' (Source) leading to '廃棄物' (Waste). From '廃棄物', the flow splits into two main paths: one for '製造工程' (Manufacturing Process) which leads to '廃棄プラスチック' (Plastic Waste) and '木くず' (Wood Shavings); the other path leads to '汚水' (Wastewater) through '污水處理工程' (Wastewater Treatment Process). '廃棄プラスチック' and '木くず' both lead to a dashed box containing 'セメント助燃材' (Cement Fuel Additive) and 'セメント原料化等' (Cement Raw Material Processing). '汚水' leads to '汚泥脱水設備' (Sludge Dewatering Equipment), which then leads to '脱水汚泥' (Dewatered Sludge). '脱水汚泥' leads to a dashed box containing '燃料再商品' (Fuel Recycle Product) and '肥料化' (Fertilization). Finally, there is a dashed line labeled '委託処理' (委托处理 - Entrusted Treatment).</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	排出量	16.59 t	0.33 t	2.58 t	16136 t 2.42 t	0.0218 t
(これまでに実施した取組)						
廃プラスチック類：シュリンクフィルム・ストレッチフィルムの他、ホーリ容器、ビールホース等のマテリアルリサイクル推進を継続 汚泥：嫌気性廃水処理設備による汚泥発生量の削減						
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥 グリストラップ	汚泥・金属くず
	排出量	15 t	1 t	5 t	15277 t 2.2 t	0.02 t
(今後実施する予定の取組)						
廃プラスチック類：シュリンクフィルム・ストレッチフィルムの他、ホーリ容器、ビールホース等のマテリアルリサイクル推進を継続、PPバンドの有価物への変更を計画 汚泥：嫌気性廃水処理設備による汚泥発生量の削減						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の種類：汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、木くず、動植物性残さ 分別に関する取組：工場内の各廃棄物発生場所での分別徹底、処理区分別に収集する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の種類：汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、木くず、金属くず 分別に関する取組：工場内の各廃棄物発生場所での分別徹底、処理区分別に収集する

	分別に収集する、廃棄物・有価物の引き取り前に最終の仕分け再確認を行う
--	------------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) なし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	14300 t	t
(これまでに実施した取組) 当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。 処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行いう 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	13539 t	t

<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。</p> <p>処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日</p>	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	
① 現状	【前年度（2023年度）実績】
	産業廃棄物の種類 －
② 計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 0 t t
	(これまでに実施した取組) なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
① 現状	【前年度（2023年度）実績】
	産業廃棄物の種類 魔プラスチック類 ガラス・陶磁器くず 木くず 汚泥グリストラップ 汚泥・金属くず
② 計画	全処理委託量 16.59 t 16.59 t 0.33 t 2.58 t 1836 t 2.42 t 0.02 t
	優良認定処理業者への 処理委託量 16.59 t 0.33 t 2.58 t 95.49 t 0 t 0.02 t
③ 実績	再生利用業者への 処理委託量 16.59 t 0.33 t 2.58 t 1836 t 2.42 t 0.02 t
	認定熱回収業者への 処理委託量 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t
④ 未実現	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t

		(これまでに実施した取組) 処理業者と委託契約を締結するにあたっての事前の現地確認（処理状況、維持管理状況等）と、委託後の定期的な確認。 マニフェストの管理を徹底する。
--	--	--

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥グリストラップ	汚泥・金属くず
	全処理委託量	17t	1t	3t	1739t	0t
	優良認定処理業者への 処理委託量	16t	1t	3t	115t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	17t	1t	3t	1739t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
※事務処理欄	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t

(今後実施する予定の取組)
処理業者と委託契約を締結するにあたっての事前の現地確認（処理状況、維持管理状況等）と、委託後の定期的な確認。
マニフェストの管理を徹底する。